

シリーズ (その5)

## 分別のその先は？

分別収集された資源物はリサイクルされます

ご家庭で分別していただいた「ごみ」がどのようにリサイクルされているか、シリーズで紹介しています。

今月は **燃やすごみ** です。

市内で収集された燃やすごみは、積替施設に運ばれた後に大型車に積み替え、松江市八束町にある民間の施設に運び、焼却処理を行っています。安来市は平成18年度まで清瀬クリーンセンターで焼却をしていましたが、現在は民間企業に焼却を委託しています。

焼却後に発生する焼却灰は、セメント工場でセメント原料としてリサイクルしています。

燃やすごみは、燃やすと体積が小さくなり、衛生的に処理できますが、処理するために燃料が多く必要で、処理にかかる費用も多くなるうえ、環境にも影響を与えます。分別の徹底、生ごみの水切りなど、可能な限り、燃やすごみの減量化にご協力ください。



▲積替施設でごみを搬入するごみ収集車。

燃やすごみのその先は・・・

**セメント**になります。

### 分別のポイント

燃やすごみに出される30センチ以上のひも、布、ストッキングなどは短く切って出してください。長いまま施設に搬入されると積替装置に絡まり、故障の原因になる場合があります。

問い合わせ 環境政策課 ☎ 23-3101

## 改修工事のため、 休館しています

市加納美術館は、館内の改修工事に伴い、令和3年5月30日(日) (予定)まで休館します。

主な改修部分は、収蔵庫や収納庫、防火壁の整備、浄化槽の調整、入り口のバリアフリー化などですが、併せて一階部分の天井や壁も一新する計画です。

休館中も情報発信や出張講座などを行っています。

また、レストランやミュージアムショップは美術館休館中も通常通り営業しています。

詳しくは、美術館までお問い合わせください。

※美術館の様子を加納美術館公式フェイスブック(FB)で公開しています。



内容は、現代史の「敗戦から立ち直る日本 敗戦からの出発」という項目中のコラム(読み物)で、「未来に向けて【平和】 旧日本兵の解放」というタイトルです。莞薔がキリノ大統領らに大量の手紙を送り戦犯釈放を訴えたことが文章で、また写真も掲載されています。



キリノ元大統領(右)と握手する加納莞薔。教科書にこの写真が掲載されています。©加納莞薔

## 加納莞薔とキリノ 元フイリピン大統領の交流が教科書に

教科書は、来年4月から中学校の生徒さんの手にわたりますので、詳しくは改めてご案内します。

安来市加納美術館だより ☎ 36-10880

